

大学院留学
応援
メッセージ

留学後の就職はゴールではなく通過点 得たものをさらに発展させる展望を持とう

終身雇用制度の崩壊、大企業の倒産など雇用環境の変化に伴い、個人のキャリアに対する考え方も変化しつつあり、「企業に選ばれる人生」から、「キャリアを選ぶ人生」へのシフトが起きています。

大学院留学生が卒業後の進路を選び取るためには、求人市場における自身の価値を高めておく必要があります。

では、求人市場では留学生の何が評価されるのでしょうか。ここでは次の5つの項目で考えてみましょう。

第1に専門知識、第2に語学力も含めたコミュニケーションスキルです。ただし、この2つは留学経験者ならあって当たり前と見なされます。

第3に価値観と経験です。留学する地域と時代、学校のランクや学生の質、専攻や教員によって大きく変わります。自分が得た価値観や経験が、企業の求める人材像とマッチするほど、求人市場での評価は高まります。

第4にキャリアについての考え方です。例えばビジネススクールなど実務経験豊かな

人が集まる大学院なら、さまざまな働き方や考え方に触れられるので、ビジネスパーソンとしての視野が広がります。

第5に人的ネットワークです。専攻や学校のレベルによって、得られる教員や学生の人的ネットワークには大きな差がつきます。

この5項目は、大学院留学を考え始めたときから、十分に検討してください。

長期的な視野でキャリアを考えることも大切です。

例えば、留学からの帰国時は英語を使わず、まず中小企業の経理で実績を積み、経営管理を任されるまでになった女性がいます。彼女は年収が200万円下がるのを承知で外資系企業に転職。語学と経理のスキルを生かし、億単位の経費削減を成し遂げて昇格を重ね、いまや外資系企業のCFO（最高財務責任者）です。

「何を得て、何を捨てるのか」。その決断に加え「得たものから将来、何を生み出すのか」「5年、10年後にどんな仕事をしていきたいのか」について展望を持つことが大切なのです。



株式会社アクシウム
代表取締役社長
キャリアコンサルタント

渡邊光章さん

〈株式会社アクシウム〉

1993年設立。20～40代のMBAをはじめ海外留学経験者のキャリアコンサルティングを中心にキャリアの展望を実現する「展職」をサポート。約750社の顧客の40%（300社）が外資系企業。製造、サービス、金融、コンサルティング系を中心に幅広いネットワークを誇る。無料展職サイト「新展地」(<http://www.shintench.com/>)も運営。